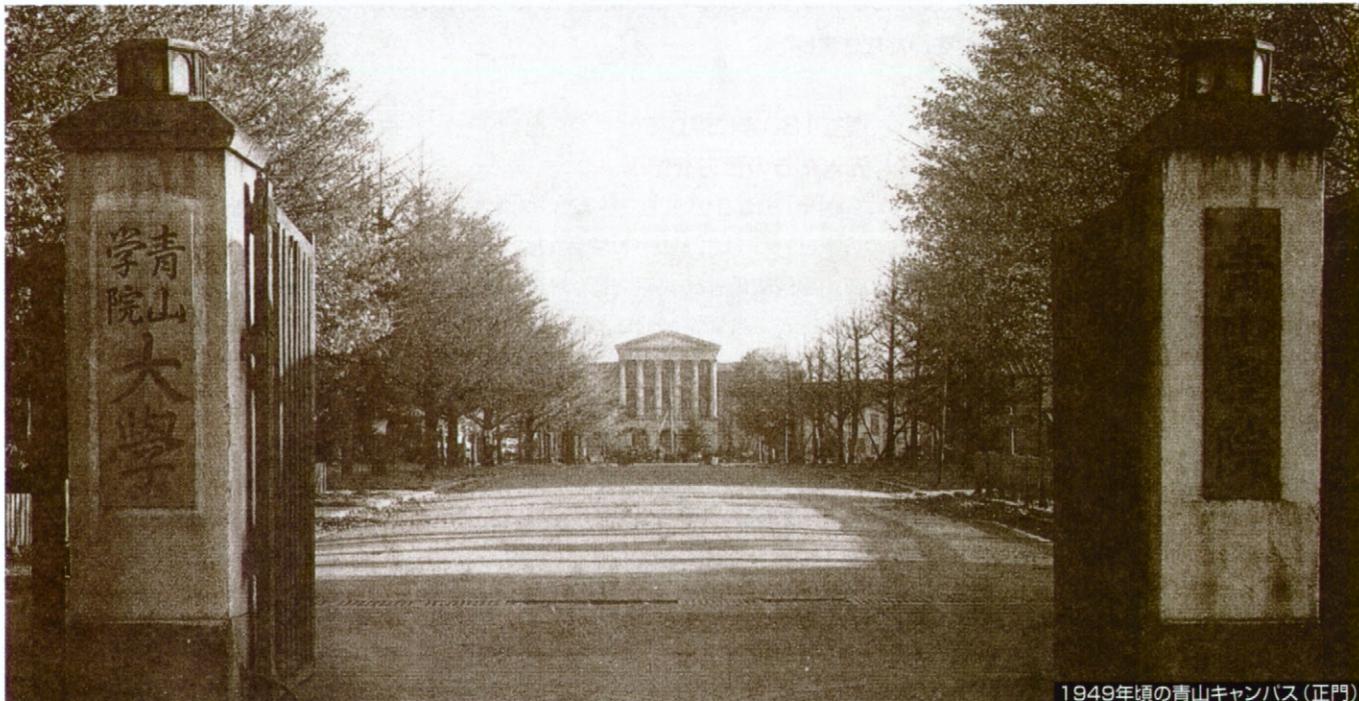


AGU NEWS No. 25

青山学院大学

AGUニュース第25号
[2004年12月~2005年2月号]
青山学院大学・広報入試センター広報課
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
TEL.03-3409-8111 (代表)
URL. <http://www.aoyama.ac.jp/agunews/>



1949年頃の青山キャンパス(正門)



現在の青山キャンパス(銀杏並木)



現在の青山キャンパス(正門門柱)

特集  AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY

青山学院創立130周年特集号

創立130周年を迎えて—青山学院130年の道程— 深町正信院長

これからの青山学院大学 武藤元昭学長

記念式典・祝賀会・各種記念行事

AGU TOPIC

会計プロフェッション研究科が4月に開設

TOPICS

法学研究科ビジネス法務専攻開設

報告・お知らせ

2005年度学部学事歴
就職関係行事のお知らせ
2005年度学年初頭行事一覧
2004年度父母懇談会開催報告

誌上公開講座

教養コア科目・自然理解関連科目
「先端エレクトロニクス」

INFORMATION

春期休業中の窓口案内
大学・大学院学費納付について
新・経済研究所が発足

特集 Special Issue 創立130周年を迎えて

よりよい未来を創造するために、今、改めて青山学院が歩んだ道程を振り返る……

1990(平成2)年以来、青山学院第12代院長を務め、教育改革などに積極的に取り組んできた深町正信院長より、学院創立130周年を迎えてメッセージをいただきました。



院長 深町 正信

創立130年に際して 先人たちの苦勞を偲ぶ

2004年11月16日(火)、在学生とその保護者の方々、校友、そして私たち教職員など、大勢の青山学院関係者が一堂に会し、創立130周年を祝うことができ、非常にうれしく思います。同時に神のお導きによって、無事、この日を迎えることができたことについて深い感謝の気持ちを捧げたいと思います。また、記念行事として同じキリスト教の理念を掲げる関西学院と合同シンポジウムを開催できたことも大きな喜びです。

青山学院は、1874(明治7)年11月16日、当時23歳の宣教師ドーラ・E・スクーンメーカー先生が東京・麻布に創立した「女子小学校」をルーツとします。その後、1878年にジュリアス・ソーパー先生が築地に「耕教学舎」、1879年にはロバート・S・マクレイ先生が「美會神学校」をそれぞれ創立し、この3つの源流がひとつにな

って現在の青山学院の姿に到ります。

明治、大正、昭和にかけて、先人たちは現在ある学院の礎を築くためにたいへんご苦勞をされてきました。まさにキリスト教学校にとって存亡の危機であった戦時下において、海軍軍人であり、同時に敬虔なクリスチャンであった小野徳三郎第8代院長をはじめとする方々のご尽力によって、キリスト教主義に基づく建学の精神を守り抜いたことは特筆に値するでしょう。戦後はアメリカから多くの宣教師の方々が来日され、日本人の教職員とともに復興のために尽くされました。130年という歳月の背後には、それを支え育てる多くの人々がいます。

創立130周年を機に、在学生のみならず、こうした青山学院の歩みを知っていただき、自分たちがこの学院で学ぶ意味について、あらためて考えていただければ幸いです。

—青山学院130年の道程—

「敬虔な心と理性の調和」を めざす教育を

青山学院に受け継がれてきた建学の精神を一言で言えば、キリスト教に基づく人間教育です。それは単に知識や技術を身につけて満足する教育ではありません。神の前において謙虚な姿勢で真理を追求し、その人の人間性と結びついた学問探究、すなわち敬虔な心と理性の調和をもたらし教育とすることができます。そしてこうした教育の特色は、社会における倫理の内実がクローズアップされている今日、多くの方々にとって魅力的に映っているようです。先日、専門職大学院の入試面接で志望理由として「キリスト教に基づく倫理教育」をあげた方が何人もいらっしゃったという、たいへんうれしいお話をうかがいました。高い倫理観に責任感を持ち、「地の塩、世の光」となる人材を社会に送り出すこと——それが私



上:青山キャンパス風景(1932年)
右上:専門部の授業風景(1927年)
右下:戦災を受けたプラット記念講堂(1945年)



たちに与えられた使命なのです。

このような建学の精神に基づいた「青山学院らしさ」をいっそう明確に打ち出していくためには、幼稚園にはじまり、初・中・高等部を経て、大学までと進んできた方々が大きな推進力になると思います。そのためには園児・児童・生徒・学生たちを取り巻く教育環境が重要になります。そこで本学院では「AOGAKU EVERGREEN 21」を合い言葉に、青山キャンパスの再開発を進めていきます。すでに初等部では新校舎やプール等の建築が進められ、新しい時代にふさわしい教育環境が整備されつつあります。また、施設設備というハードウェアだけではなく、教育

のソフトウェアの面での環境整備にも取り組んでいます。たとえば現在、初・中・高等部の12年間を一貫する英語教育プログラムの作成が、大学教員の協力のもと進んでおり、「英語の青山」という定評を一層充実するために、多くの教員が努力されています。さらに高等部と大学の連携、女子短期大学と大学の連携など、青山学院が一体となって、その個性を社会にアピールするさまざまな動きがあります。学校を取り巻く厳しい社会環境の中、私たち青山学院は、自らのポジションを見極め、着実に育み、未来へ歩いていく所存です。

青山学院130年の歩み

1874 ● ドーラ・E・スクーンメーカー 「女子小学校」を麻布に開校 後に「救世学校」から「海岸女学校」へさらに「東京英和女学校」と改称

1878 ● ジュリアス・ソーパー 築地に「耕教学舎」開校 後に「東京英和学校」となる

1879 ● ロバート・S・マクレイ 横浜に「美會神学校」開校

1882 ● 「美會神学校」を「東京英和学校」に合同

1883 ● 「東京英和学校」を現在の青山の地に移転し、「東京英和学校」と改称

1893 ● 「海岸女学校」に幼稚園を設置(1899閉園)

1894 ● 「東京英和学校」を「青山学院」と改称 ● 日清戦争始まる

1895 ● 「東京英和女学校」を「青山女学院」と改称

1899 ● 「文部省訓令第12号」公布により、宗教教育に支障をきたす

1904 ● 青山学院の神学部、高等科および青山女学院英文専門科は 専門学校令による専門学校の認可を受ける

1906 ● 青山学院財団設立

1923 ● 関東大震災により、青山学院・青山女学院の 建物諸施設大破

1914 ● 第一次世界大戦勃発

1927 ● 4月「青山学院」と「青山女学院」の合同が 文部省より認可され「青山学院」となる 8月青山女学院の名称を 青山学院高等女学部と改称 (青山学院は神学部、高等学部、 中等部、高等女学部[専攻科・本科]を置く)

1914 ● 第一次世界大戦勃発

1916 ● 「青山学院」創刊号(1916年)

1919 ● 学生による福音伝道隊(1901年)

1923 ● 関東大震災によって倒壊した大講堂

from 1874 to 2004

1937 ● 青山学院小学財団設立、 青山学院緑岡小学校・幼稚園開校(1944幼稚園閉鎖)

1939 ● 第二次世界大戦勃発(ドイツのポーランド侵攻)

1941 ● 宣教師に米国メソジスト教会より帰還命令が出される

1943 ● 神学部閉鎖

1944 ● 専門部(文学部、高等商業学部)を閉鎖し、明治学院に合併 「青山学院工業専門学校」を開校

1945 ● 空襲により校舎・諸施設の大半罹災 ポツダム宣言受託

1946 ● 青山学院工業専門学校を「青山学院専門学校」と改称 女子専門部を「青山学院女子専門学校」と改称 青山学院小学財団を青山学院に合併し、「青山学院緑岡小学校」を 「青山学院初等部」と改称 米国メソジスト教会より、宣教師再び日本に派遣される

1947 ● 新学制による「青山学院中等部」発足 青山学院専門学校横須賀分校開校 ● 「教育基本法」公布

1949 ● 新制大学として「青山学院大学」を開校。文学部、商学部、工学部を置く 青山学院創立75周年記念式典挙(1874年を創立年とする)

1950 ● 大学に第二部を開設 「青山学院女子短期大学」を開校。家政科、文科(英文専攻・国文専攻)を置く 「青山学院高等部」(男女共学)開校

1951 ● 「財団法人青山学院」を「学校法人青山学院」に組織変更

1952 ● 大学院を開設

1953 ● 商学部を経済学部へ改組

1959 ● 法学部を設置

1961 ● 青山学院幼稚園設置

1964 ● 「青山学院教育方針」発表 ● 東京オリンピック

1965 ● 大学沼沢キャンパスを開校し、理工学部を置く (1971 世田谷キャンパスに名称変更)

1966 ● 経営学部設置

1968 ● 大学に学生紛争始まる

1974 ● 青山学院創立100周年挙行

1982 ● 大学厚木キャンパスを開校し、国際政治経済学部を設置

1986 ● 「青山学院高中部」(中・高6年制一貫教育)発足

1990 ● 国際政治経済学研究科に 国際ビジネス専攻修士課程(夜間大学院)設置

1991 ● 青山学院将来計画委員会設置

1998 ● 青山学院第二次将来計画委員会設置

2001 ● 専門大学院国際マネジメント 研究科国際マネジメント専攻 (昼夜開講)設置

2003 ● 大学厚木キャンパス・ 世田谷キャンパスを閉じ、 相模原キャンパス開学

2004 ● 法務研究科 (法科大学院)設置

1950年撮影 戦後来日した宣教師

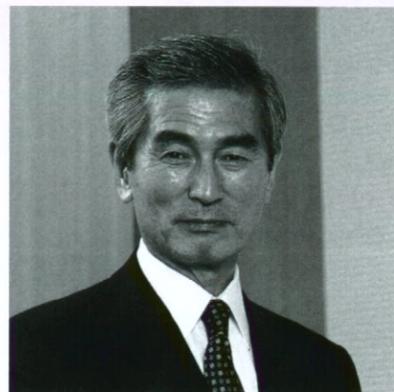
1990年撮影 将来計画委員会(第二次)報告書 「青山学院の課題と展望」

2004年撮影 相模原キャンパス開学式

青山学院創立100周年記念式典

これから の青山学院大学

武藤学長が語る教育・研究、学生生活の「深化」&「進化」



学長 武藤 元昭

「大学の個性」とは、
一朝一夕に作られるものではありません。
青山学院のカラーも、
その130年の伝統が創り出してきたと言えるでしょう。
現在、大学では
そうした伝統と建学の精神を踏まえつつ、
「通う大学から、暮らす大学へ」という
スローガンのもと、「風通しの良い大学」
「面倒見の良い大学」「居心地の良い大学」という
3つの大学像を打ち出しています。
今後は、より一層
教育・研究から学生生活、国際交流など、
さまざまな面での「伝統に立脚した改革」を
進めていきます。

「青学で学んでよかった!」と思ってもらえる大学に

青山キャンパスでの履修に加え、
青学の「歴史」を学ぶ機会を設けて、
名実ともに「青山スタンダード」になります

2005年度で3年目を迎える「青山スタンダード」は、学問分野や学部・学科の枠組みを超えた本学独自の全学共通教育システムです。その到達目標は「およそ青山学院大学の卒業生であれば、どの学部・学科を卒業したかに関わりなく、一定の水準の技能・能力と一定の範囲の知識・教養を備えている」こと。今後、これまでの教育成果や受講した学生みなさんの意見を踏まえて、柔軟に授業内容の見直しや新設を図っていきますが、さらに「青山スタンダード」科目において、学院の歴史を学ぶ機会をできるだけ設けていくつもりです。自分たちが学ぶ「青山学院」が、近代史のなかでどのように形成されてきたのかを学生一人ひとりに深く知っていただくことで、青学生としてのプライドと母校への愛着をすべての学生に感じてほしい、それが私の願いです。また現在、本学では第二部(夜間部)改革とそれに伴う新学部の設置計画が検討されておりますが、その動きと連動して青山キャンパスでも「青山スタンダード」を履修できるようにし、名実ともに「青山スタンダード=全学共通教育」としての体裁を整えていく予定です。

主にアジアをターゲットとした
国際交流の新しい試みを準備し
キャンパスの国際化を図っていきます

青山学院大学は伝統的に国際性をひとつの特色として打ち出してきました。ただ、近

年のグローバル化の機運の中で、多くの大学が意欲的に国際交流に取り組んでおり、とすれば本学の国際性が見えにくくなっている面も否定できません。今後、国際交流の推進は教育・研究の活性化のために必要不可欠であり、学生の留学プログラム、および海外からの留学生受け入れ体制の充実さらに積極的に取り組む予定です。特に、政治・経済、文化などの局面ですます連携が必要となるアジア地域との交流に今後は力を入れていきたいと思っています。そのため、日本語教育など留学生向けの教育プログラムを充実させるとともに、従来の学生寮を留学生の宿泊施設として転用するプランを検討しています。なお、この留学生寮は、日本人学生も共に生活し、日々の生活場面で国際交流が図れる施設にしたいと考えています。

専門職大学院トライアングル構想、
ビジネス法務専攻の誕生など、
大学院の「進化」にご注目!

2005年度より会計プロフェッション研究科(会計専門職大学院)が加わり、本学には、「ビジネススクール」「ロースクール」「アカウンティングスクール」という3つの専門職大学院が設置されることになります。今後は、各専門職大学院の教員や学生の交流、講義の相互履修など、独自の「専門職大学院トライアングル構想」を進め、相互のクオリティー向上を図ります。そしてキリスト教に基づく人間の育成を掲げる本学としては、特に高度なプロフェッションに求められる倫理教育の面で社会貢献を果たしていきたいと思っています。

こうした専門職大学院の教育研究体制充

実に伴い、主として研究者養成を行う既存の大学院研究科との役割分担が大きな課題となってきました。2005年4月より大学院法学研究科では、ビジネス分野での法のスペシャリストを育成する「ビジネス法務専攻」を開設しますが、大学としてはこうした各専門分野の特色を生かした意欲的な試みをバックアップするとともに、大学院全体のあり方に関するランドデザインを策定していきたいと考えています。その際、青山キャンパスという地の利を生かし、社会人の勉学に対するニーズを十分くみ取ることが大切でしょう。

また、こうした大学院教育と学部教育との兼ね合いにも十分配慮する必要があります。これまで以上にしっかりと学生一人ひとりを大切に教育を行っていくとともに、「教育」と「研究」のバランスの取れた大学づくりに全学で取り組んでいきます。

スポーツをはじめとする
正課外活動への積極的な支援によって
青学を愛する気持ちを
育てていきたい

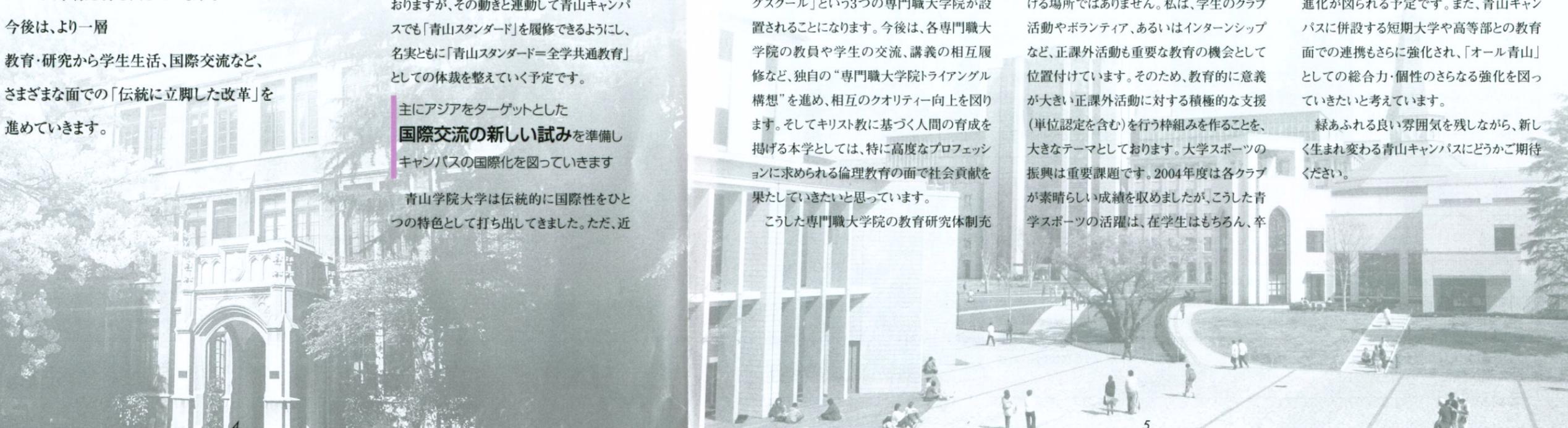
大学というところは、単に教室で授業を受ける場所ではありません。私は、学生のクラブ活動やボランティア、あるいはインターンシップなど、正課外活動も重要な教育の機会として位置付けています。そのため、教育的に意義が大きい正課外活動に対する積極的な支援(単位認定を含む)を行う枠組みを作ることを、大きなテーマとしております。大学スポーツの振興は重要課題です。2004年度は各クラブが素晴らしい成績を収めました。こうした青学スポーツの活躍は、在学生はもちろん、卒

業生の方々にも大きな喜びと勇気を与えてくれます。本学では、すでに陸上競技部等を対象にした「強化指定部」入試を導入しておりますが、今後、スポーツ入試の拡大を図っていきたく考えています。入試方法の多様化によって、さまざまな個性・才能を持つ学生を受け入れることは教育機関として大いに意義があることでもあります。また、母校の期待を背負って競技に挑む学生は、愛校心にもあふれ、学内で、あるいは卒業後に社会で、青山学院の教育を体現する存在となることでしょう。スポーツを通じた人々の「つながり」は、何ものにも替えがたい、というのが私の考えです。

「オール青山」で取り組んでいく
青山キャンパス再開発によって
21世紀の教育のカタチを
提案していきます

現在、学院規模で「AOGAKU EVERGREEN 21」という青山キャンパス再開発プロジェクトが進行しています。大学では、2005年の会計専門職大学院棟(仮称)の完成をはじめ、第二部(夜間部)改革とそれに伴う新学部設置構想、図書館の拡充など、教育・研究環境の進化が図られる予定です。また、青山キャンパスに併設する短期大学や高等部との教育面での連携もさらに強化され、「オール青山」としての総合力・個性のさらなる強化を図っていきたく考えています。

緑あふれる良い雰囲気を残しながら、新しく生まれ変わる青山キャンパスにどうかご期待ください。



Aoyama Gakuin 130th Anniversary

2004年度は創立記念日に開催した記念式典のほか、
通年にわたり多彩なゲストを迎えた記念行事を開催しました。主な行事をご紹介します。

青山学院創立130周年記念式典・祝賀会



2004年11月16日(火)、青山学院講堂において、「青山学院創立130周年記念式典」がご来賓の方々、青山学院関係者約1,200名の列席のもと執り行われました。式典は武藤元昭学長の司式のもと進行し、来賓の中山成彬文部科学大臣(代読・近藤信司文部科学審議官)、安西祐一郎氏(日本私立大学連盟会長/慶應義塾塾長)、山内一郎氏(キリスト教学校教育同盟理事長/関西学院理事長)、Jerome King

Del Pino氏(合同メソジスト教会高等教育宣教局総幹事)よりご祝辞をいただきました。また、本学院より財団法人吉田育英会へ、永年にわたる有能な人材育成のための奨学金寄贈に、感謝と敬意を表して特別表彰が行われ、つづいて「青学ばんざい」をテーマに青山学院に関わる自由な内容で募集した記念エッセイ



の受賞者表彰も行われました(右ページ参照)。式典後はアイビーホール青学会館にて祝賀会が行われ、和やかな雰囲気の中ご挨拶やお祝いの言葉が交わされ、再会を喜ぶ多くの方々の様子もみられました。



130th Anniversary 公開講演会 「グローバル化と日本文化」

2004年9月29日(水)、青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂において、本学総合研究所主催による公開講演会が行われました。河合隼雄氏(文化庁長官・臨床心理学者)による講演のテーマは「グローバル化と日本文化」。講演後はフルート奏者でもある同氏によるミニコンサートも行われました。



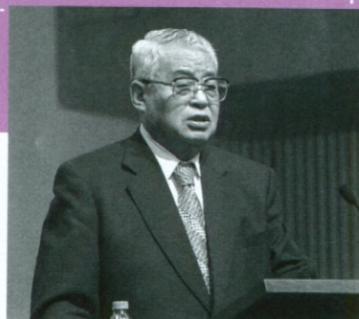
130th Anniversary 公開講演会 「『生命』を基本とする社会—生命誌の視点から—」

2004年11月29日(月)、青山キャンパス 総合研究所ビル12階大会議室において本学総合研究所主催による公開講演会「『生命』を基本とする社会—生命誌の視点から—」が開催されました。講演者はJT生命誌研究館館長で生命科学者の中村桂子氏。



130th Anniversary 公開講演会 「国鉄改革を通して学んだこと」

2004年11月18日(木)、青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂において、本学総合研究所主催による公開講演会「国鉄改革を通して学んだこと」が開催されました。講演者は東日本旅客鉄道株式会社(JR東日本)取締役会長の松田昌士氏。松田氏は、日本国有鉄道の分割民営化に伴う経営再建に手腕を発揮され、「道路関係四公団民営化推進委員会」においても活躍されました。その体験を踏まえた講演内容は、経営から教育まで多岐にわたり、「大きな問題を決して先送りしない」ことの重要性を力説。会場に集まった次代を担う若者たちに向けて熱いメッセージを贈りました。



130th Anniversary 青山学院・関西学院合同シンポジウム 「国連の将来と日本の役割」

2004年11月17日(水)、青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂において、青山学院創立130周年および関西学院創立者ランバース生誕150周年を記念して、合同シンポジウム「国連の将来と日本の役割」(主催:青山学院、関西学院 後援:国際連合大学、読売新聞社)が開催されました。



- 基調講演:川口順子氏 内閣総理大臣補佐官、前外務大臣
 - 特別講演:Dr.Rukudzo J. Murapa ジンバブエ・アフリカ大学学長・IAMSCU会長
 - パネルディスカッション
- 〈パネリスト〉
佐藤行雄氏 日本国際問題研究所理事長(元国連大使)
弓削昭子氏 国連開発計画(UNDP)駐日代表
安井 至氏 国際連合大学副学長(青山学院校友)
村田俊一氏 関西学院大学教授(元UNDP駐ブータン代表)
- 〈コーディネーター〉
橋本五郎氏 読売新聞東京本社編集委員



130th Anniversary 松澤建氏、渡哲也氏、中田宏氏による特別座談会

2004年11月6日(土)、青山キャンパス 総合研究所ビル12階大会議室において、各界で活躍中の青山学院OB3名をお招きした特別座談会「学院からあたえられたもの」(青山学院維持協力会主催)が開催されました。当日は羽坂勇司青山学院理事長による挨拶に始まり、パネリストの方々から、学生時代の思い出話や交えた楽しく、また有意義な対話が繰り広げられ、久武雅志青山学院常務理事による閉会の挨拶をもって大盛況のうちに終了しました。青山学院維持協力会会員をはじめ、一般の方々も多数ご参加いただきました。



- 〈パネリスト〉
松澤 建氏 日本興亜損害保険株式会社取締役社長
渡 哲也氏 株式会社石原プロモーション代表取締役社長
中田 宏氏 横浜市市長
- 〈コーディネーター〉
金山 仁志郎 青山学院常務理事



松澤 建氏 渡 哲也氏 中田 宏氏

130th Anniversary 本学硬式野球部がジンバブエのナショナル野球チームと親善試合

2004年11月9日(火)、相模原キャンパス スタジアムにおいて、本学硬式野球部とジンバブエのナショナル野球チームとの親善試合が行われました。創立130周年記念行事の一環として、ジンバブエ・アフリカ大学学長ムラバ氏の来日を機に組まれた対戦で、深町正信院長が始球式を務めました。



130th Anniversary 「活字文化公開講座」

2004年10月23日(土)、青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂において、「活字文化公開講座」(主催:青山学院、活字文化推進会議)が行われました。はじめに作家の水村美苗氏が「日本語で書くということ」と題して講演し、続いて本学女子短期大学栗坪良樹教授が「ことばの力」をテーマに講演を行いました。

130th Anniversary 記念エッセイ募集 「青学ばんざい」受賞者決定

- 〈大学の部〉
優秀賞
梶浦真理(文学研究科英米文学専攻博士前期課程1年)「Viva!青学」
池田佳織(文学部教育学科3年)「青学サークルと厚木との出会い」
築瀬 久(経営学部第二部2年)「ひととき」
- 佳作
李 満紅(文学部日本文学科2年)「青学ばんざい」
西 夏紀(文学部フランス文学科4年)「たいせつなもの」

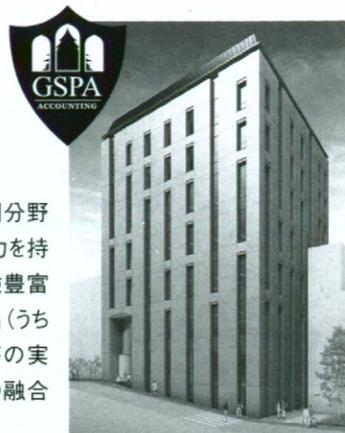
130th Anniversary 「AOGAKU EVERGREEN 21 募金」

青山学院創立130周年を機に、青山キャンパス再開発事業と給付型奨学金制度充実の2つを目的とした「AOGAKU EVERGREEN 21 募金」が始まりました。今後5年間継続して募集されます。青山学院にとって歴史と伝統の地である青山キャンパスの再開発には、青山学院の将来がかかっており、卒業生からも高い関心が寄せられています。青山学院が建学の精神を堅持しつつ、新しい時代にふさわしい総合学園であるために、在学生保護者、校友、各界の皆様からのご支援をお願いしております。募金に関するお問い合わせは、青山学院総合企画部募金室まで(TEL 03-3409-6208、FAX 03-3486-4712 e-mail:bokin@jm.aoyama.ac.jp)



会計プロフェッション研究科が4月に開設

2004年11月、青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科(会計専門職大学院)は2005年4月の設置を文部科学省より認可されました。そこでその概要とカリキュラム、施設・設備等についてご紹介します。



会計専門職大学院棟(仮称)

●「会計プロフェッション研究科」の概要

「会計プロフェッション研究科」(Graduate School of Professional Accountancy 以下GSPA)は、青山学院のキリスト教に基づく教育の理念と方針を実現するために、高度な職業倫理性と国際人としての素質を十分に備えた会計専門職、すなわち会計プロフェッションの育成を目指しています。GSPAは、質の高い独自のカリキュラムにより、社会的要求に応えられる幅広い会計プロフェッションの育成を実践します。

●カリキュラムの特色

GSPAでは、青山学院の教育方針を踏まえた会計専門職の養成を目指し、「倫理教育の徹底」と「国際人の養成」を2本の柱とした「健全な会計マインドを備えたプロフェッションの養成」を目的としたカリキュラムを編成。公認会計士や税理士等のいわゆる会計専門職の資格取得希望者だけでなく、企業内CFOや行政・自治体などにおける会計ナレッジ習得・リカレント教育の会計の専門職希望者にも幅広く対応するために、2年間の修業年限におよそ145科目というバラエティに富んだ科目を配置しています。

カリキュラムの主な特色は以下の通りです。

1. 国際会計士連盟(IFAC)の職業会計士教育国際基準に合致する教育プログラム
2. 新公認会計士試験制度(短答式一部免除)に合致したカリキュラム内容と教育の質を保持
3. 求められる職業倫理を修得し、企業倫理・コーポレートガバナンスの考え方を教育
4. 国際的感覚を備えた専門職業人を教育するために英文会計および国際会計の教育
5. 少人数制の演習、論文作成指導およびディベート、コミュニケーションの資質を向上させる教育
6. 理論と実務の融合を可能にする実務家教員を多数配置
7. OB・OGで組織する青学会計人クラブメンバーを中心とする監査法人、会計事務所および税理士事務所でのエクスターンシップ授業を配置

●教育スタッフについて

GSPAの専任教員は、各専門分野において、優れた教育・指導能力を持つ研究者教員、および現場経験豊富な実務家教員をあわせて計16名(うち10名が公認会計士、税理士等の実務資格保有者)。理論と実務の融合を図る教育を展開していきます。

●施設・設備

アクセス至便の青山キャンパスに、現在、会計専門職大学院棟(仮称)を建築中で、4月の入学時よりGSPA院生はここで学ぶことになります。棟内には院生の学びをバックアップし、お互いの交流を育むためのさまざまな設備が整えられています。

●会計プロフェッション研究科概略

名 称	青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科会計プロフェッション専攻
課 程	専門職学位課程
学 位	会計修士(専門職)
定 員	入学定員80名 収容定員160名
開講形態	昼間開講

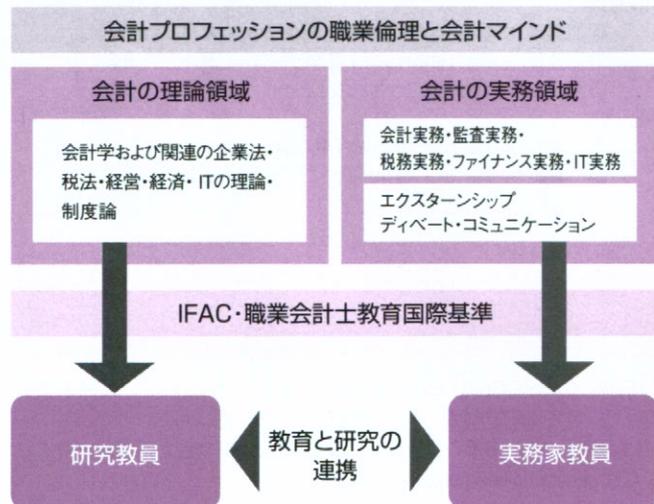
●問い合わせ先

専門職大学院事務室 TEL 03-3409-8025



ロビー

アカウンティングスクールの全カリキュラムの概念図



学習室(個人用キャレル)

※掲載しているCG・写真は設計に基づくイメージです

法学研究科ビジネス法務専攻(修士課程、博士後期課程)開設

青山学院大学大学院法学研究科では、既存の私法専攻・公法専攻に加えて、新たに、2005年4月より「ビジネス法務専攻」を開設します。コンプライアンス、企業の社会的責任、内部告発問題など、ビジネス分野における法的な考え方の重要性が増大している今日、「ビジネス法務専攻」は、ビジネスとリーガル双方の観点を踏まえた研究教育を展開し、「ビジネスローリテラシー」を備えた職業人を育成します。

●「ビジネス法務専攻」の特色

本専攻は、大学院教育プログラムとして、「リーガル」および「経営戦略」の2つの観点を十分に踏まえながら、「ビジネスロー」に関する高度専門的能力をベースに、主にビジネス中堅で活躍できる職業人・社会人を育成します。

●「ビジネス法務専攻」の基本コース

本専攻は、ビジネス法務にとって特に重要な、下記3領域に対応した「プログラム」を設置しています。

1. 知財法務プログラム

「知的財産立国」を目指す日本にとっては、知的財産創造の担い手を育成することに加え、その権利化や紛争処理、知的財産ライセンス契約等の高度な専門サービスを提供する専門家の増員・養成が急務です。本プログラムの目標は、法律、技術、経営などの各領域に通暁した「融合的人材の養成」を推進することです。弁理士、弁護士の継続教育、企業法務部門在籍者をはじめ、知財分野の専門知識の修得を求める社会人を対象とします。

2. 税法務プログラム

大学院レベルの教育によって、「法務」部分を担うにふさわしい修士号を持つ税理士を育成します。主として税理士有資格者を対象とした教育を行います。それにとどまらず、税、会計の法的側面のプロフェッショナルを目指す者、たとえば、国家試験の一定の科目ですでに合格し、税法免除申請を考える人も歓迎します。

3. 人事労務法務プログラム

本プログラムの目標は、企業等における労働関係にとって広く必要とされるリーガルリテラシーの修得です。具体的には、社会保障労務士資格取得者および取得予定者が、資格取得後、実際に諸活動を行えるような能力、企業の人事労務部に属する社員

の専門的能力の育成、労働組合役員の専門的能力の育成等を目指します。

●「ビジネス法務専攻」のカリキュラム

本専攻のカリキュラムは、下記の科目群から構成されています。

◇コアコンテンツ

本専攻における基礎的リテラシー修得のための一種のプラットフォームといえる科目群です。レクチャーメソッド系の講義を主体に、本専攻で学ぶことのひとつの特徴的な点である経営戦略法務的発想を身につけます。

◇プログラムコンテンツ

プログラム毎に設置される、主としてケースメソッド・レクチャーメソッドを併用した科目群です。各プログラムを専攻し、専門性を磨くために必要不可欠なカリキュラムコンテンツが用意されています。

◇イシューコンテンツ

各プログラムの枠にとらわれることなく、特定のホットイシューについて、学際的な観点からアプローチする科目群です。主にケースメソッド型の講義が予定されています。

◇プログラムワークコンテンツ

各プログラム毎に用意される裁判例・事例演習といわゆる論文指導です。

●「ビジネス法務専攻」の概略

名 称	青山学院大学大学院法学研究科ビジネス法務専攻
学 位	修士(ビジネスロー)・博士(ビジネスロー)
入学定員	修士課程40名 博士後期課程2名
開講形態	平日夜間および土曜開講

●問い合わせ先

大学院事務室 TEL 03-3409-7831

鈴木豊経営学部教授が「第18回青木賞-著書の部」受賞

鈴木豊経営学部教授(会計専門職大学院開設準備室室長)が、著書「政府・自治体・パブリックセクターの公監査基準」(中央経済社 2004.2刊)により、「2004年度(第18回)青木賞-著書の部」(日本内部監査協会)を受賞。9月6日(月)に開催された「第38回内部監査推進全国大会」において表彰式が行われました。

この「青木賞」は、故青木茂男早稲田大学名誉教授の業績を記念して1987年に創設され、わが国の企業ならびに経営組織体における内部監査の発展に資するため、監査に直接・間接に関連を有する優れた著書に対して贈られる賞です。

2004年度青山学院学術褒賞

2004年度青山学院学術褒賞の受賞者が決まりました。

- 文学部フランス文学科助教授 平野隆文氏
「魔女の法廷 ルネサンス・デモノロジーへの誘い」
- 文学部日本文学科教授 高田祐彦氏
「源氏物語の文学史」
- 経済学部経済学科教授 田野慶子氏
「ドイツ資本主義とエネルギー産業
—工業化過程における石炭業・電力業—」
- 経営学部経営学科教授 鈴木 豊氏
「政府・自治体・パブリックセクターの公監査基準」
- 理工学部機械創造工学科教授 小林信之氏
柔軟マルチボディシステムのダイナミクスに関する基礎研究
- 女子短期大学児童教育学科教授 菅沼眞砂子氏
ル・グウィン作『ゲド戦記』全6巻の翻訳(第41回日本翻訳文化賞受賞)

2005年度学事暦(学部)

※大学院生は掲示板等を参照してください。

前期

4月1日(金)	オリエンテーション、履修ガイダンス、健康診断 (9日(土)まで) ※詳細は、「学年初頭行事」等で確認してください。
4月4日(月)	入学式(学部・大学院)
4月11日(月)	前期授業開始、新入生歓迎礼拝(相模原)
4月12日(火)	新入生歓迎礼拝(第二部)
4月19日(火)	履修登録最終日(青山第一部)
4月20日(水)	履修登録最終日(相模原、青山第二部)
5月2日(月)	アドバイザー・グループ・デー(全キャンパス休講)
5月23日(月)	前期チャペル・ウィーク(28日(土)まで)
7月15日(金)	補講日(16日(土)まで)(相模原、青山第一部、第二部)
7月19日(火)	補講日(21日(木)まで)(第二部のみ) 前期定期試験期間(30日(土)まで)
8月1日(月)	清里サマー・カレッジ(8月3日(水)まで) 夏期休業期間(9月24日(土)まで)
9月24日(土)	大学院学位授与式
9月30日(金)	9月卒業生学位授与式

後期

9月26日(月)	後期授業開始
10月9日(日)	相模原祭(10日(月)まで)
10月17日(月)	後期チャペル・ウィーク(22日(土)まで)
10月28日(金)	青山祭(11月1日(火)まで)(全キャンパス休講)
11月15日(火)	創立記念礼拝(相模原、青山第一部、第二部)
11月16日(水)	創立記念日(全キャンパス休講)
11月25日(金)	クリスマス・ツリー点火祭
12月15日(木)	クリスマス礼拝(相模原)
12月20日(火)	クリスマス礼拝(青山)
12月24日(土)	冬期休業期間(1月7日(土)まで)
1月10日(火)	後期授業再開
1月17日(火)	水曜日の授業実施(振替)
1月18日(水)	補講日(19日(木)まで)(相模原、青山第一部、第二部)
1月20日(金)	大学入試センター試験準備日(青山キャンパスのみ休講)
1月21日(土)	大学入試センター試験(22日(日)まで) (青山キャンパスのみ休講)
1月23日(月)	補講日(26日(木)まで)(第二部のみ) 後期定期試験期間(2月4日(土)まで)
2月4日(土)	第二部スプリング・カレッジ(5日(日)まで)
3月25日(土)	卒業礼拝、学位授与式(学部・大学院)



就職関係行事のお知らせ

青山キャンパス

行事	対象学年	日程	備考
就職ガイダンス	学部3年生	2月4日(金)	今回初めて参加の学生対象 就職の手引、進路カード配付
自己分析・エントリーシート講座			有料・テストのみ
SPI模擬試験			有料・当日申込
学内企業説明会		2月上旬および下旬	詳細は掲示板を参照
公務員試験対策講座	全学年	3月中(詳細掲示)	有料・事前申込(会場は青山キャンパス)

相模原キャンパス(理工学部生・理工学研究生対象)

行事	対象学年	日程	備考
学内企業説明会	学部3年生 院1年生	2月下旬	詳細は掲示板等を参照

※追加、変更等もありえますので、詳細は必ず掲示板にて確認してください。また、就職の相談は随時受け付けていますので、来室し申し出てください。

●「マスコミQ&A」開催

2004年10月27日(水)、青山キャンパス420教室において、昨年に引き続き、マスコミ業界で活躍されている卒業生の会「マスコミ青山会」のご尽力で、「現役マスコミ先輩が語る、マスコミ業界の今」をテーマに就職相談会「マスコミQ&A」が行われました。新聞・出版、広告・制作、放送の各界11名の先輩から、出席した約200名の就職希望学生に熱いメッセージをいただきました。予定時間を超えて続く質問にも快く応じてくださり、学生には大変有意義な時間でした。お忙しいなかをありがとうございました。(就職課長 上倉功 記)



2005年度学年初頭行事一覧

青山キャンパス

【文芸部心理学科】4月2日(土)新2・3・4年生(各学年とも留年者を含む)

学部・学科	時間	場所	行事
文芸部 心理学科(昼間主)	10:00	930教室	プレースメント・テスト
文芸部 心理学科(夜間主)	14:30		

【昼間部】4月5日(火)新4年生 4月6日(水)新3年生(各学年とも留年者を含む)

学部・学科	書類配布	場所	履修ガイダンス	場所	学生証更新(1・2号館2階)	健康診断(7号館2階音楽室)
文芸部 教育学科	12:30	ガウチャー 記念礼拝堂	13:00	1123教室	4月5日(火)、6日(水)、7日(木) 9:30~11:30 13:00~16:00 所要時間:約30分(混雑時)	4月5日(火)、6日(水)、 7日(木)、8日(金) 9:00~11:00 13:00~15:00 17:00~19:00
文芸部 英米文学科	10:30		11:00	930教室		
文芸部 フランス文学科	12:30		13:00	922教室		
文芸部 日本文学科	10:30		11:00	1173教室		
文芸部 史学科	12:30		13:00	920教室		
文芸部 心理学科(昼間主)	12:30	1143教室	13:00	1143教室		
経済学部	9:15	910教室	9:45	910教室		
法学部	9:15	4号館1階	9:45	420教室		
経営学部	12:45	910教室	13:15	910教室		
国際政治経済学部	12:45	6号館1階	13:15	621教室		

【第二部(夜間部)／文芸部心理学科(夜間主)】4月5日(火)新4年生 4月6日(水)新3年生 4月7日(木)新2年生(各学年とも留年者を含む)

学部・学科	書類配布	場所	履修ガイダンス	場所	学生証更新(1号館2階)	健康診断(7号館2階音楽室)
文芸部 心理学科(夜間主)	17:30	1143教室	18:30	1143教室	4月5日(火)、6日(水)、7日(木) 16:30~19:30 所要時間:約30分(混雑時)	4月5日(火)、6日(水)、 7日(木)、8日(金) 9:00~11:00 13:00~15:00 17:00~19:00
文芸部第二部 教育学科		7号館1階 学生ロビー		1135教室		
文芸部第二部 英米文学科				1134教室		
経済学部第二部				621教室		
経営学部第二部				930教室		

●教務課からのお知らせ

※学年初頭の各行事および開始時間は上記のとおりです。各自、あらかじめ計画して、指定の日時に出席してください。

※履修ガイダンスの所要時間は30分~60分程度です。

※その他の行事については、書類配布時に配布される「学年初頭行事」を参照してください。

※2005年度の編入学・転学部・転学科生は「2005年度学年初頭行事一覧(編入学生・転学部・転学科生)」と「学年初頭行事」を参照してください。

●学生部からのお知らせ(学生証更新について)

※学生証裏面の在籍確認シールは、毎年4月に更新となります。新しい在籍確認シールの交付を受け、各自で貼り直してください。

※大学院生(青山キャンパス)は、大学院事務局掲示板を参照してください。

●保健管理センターからのお知らせ(健康診断について)(受診の義務:青山学院大学学生共通細則第9条)

※学年等により検査項目が異なります。

注意1:視力検査のため、メガネ、コンタクト使用者は必ず持参してください。

注意2:女子はレントゲン検査のために、無地に近いシャツを着用もしくは持参してください。

注意3:健康診断を受診できなかった場合は、外部診療所へ行き自費(約4600円)で受診することになります。依頼書がセンター窓口にあるので取りに来てください。健康診断未受診の場合、健康診断証明書は発行できません。(就職用・教育実習・介護等体験・奨学金・体育集中講義等に必要です。)

注意4:4年生は、受診前日までに検尿容器を7号館1階保健管理センターまで取りに来て、採尿済み容器を持参してください。

※学生健康診断について何か質問のある方は、直接保健管理センター窓口もしくは03-3409-7896にて確認してください。

相模原キャンパス

4月1日(金)新2年生(文・法)／新3・4年生(理工)

学部・学科	書類配布	場所	履修ガイダンス	場所	学生証更新(F棟)	健康診断(D棟)
文芸部2年生 英米文学科	9:30	E棟 1階廊下	10:00	E棟	12:00~15:00	4月1日(金)、2日(土) 9:00~10:30 13:30~16:30
文芸部2年生 フランス文学科	9:30		10:00			
文芸部2年生 史学科	9:30		10:00			
文芸部2年生 教育学科	13:30		14:00			
文芸部2年生 日本文学科	13:30		14:00			
文芸部2年生 心理学科(昼間主)※1)	13:30		14:00			
法学部2年生	10:00		10:30			
理工学部3年生	9:30		10:00			
理工学部4年生	12:30		13:00			

注1) 文芸部心理学科(昼間主)新2年生は、4月2日(土)青山キャンパスにおいてプレースメント・テストが行われます。

4月2日(土)新2年生(経済・経営・理工)／大学院(理工)

学部・学科	書類配布	場所	履修ガイダンス	場所	学生証更新(F棟)	健康診断(D棟)
経済学部2年生	13:00	E棟 1階廊下	13:30	E棟	12:00~15:00 (ただし、理工学研究科1年生は 学生証の交付になります。)	4月1日(金)、2日(土) 9:00~10:30 13:30~16:30
経営学部2年生	10:00		10:30			
理工学部2年生	10:00		10:00			
理工学研究科注2)	10:30		12:30			

注2) 理工学研究科の1年次生(博士前期・博士後期課程共)の健康診断については、「入学手続要項」と「学年初頭行事」を参照してください。

4月7日(木)新2年生(国際政治経済) 健康診断は4月1日、2日です。

学部・学科	書類配布	場所	履修ガイダンス	場所	学生証更新(F棟)	健康診断(D棟)
国際政治経済学部2年生	9:30	E棟 1階廊下	10:00	E棟	11:00~12:00	4月1日(金)、2日(土) 9:00~10:30 13:30~16:30

※学年初頭の各行事および開始時間は上記のとおりです。各自、あらかじめ計画して、指定の日時に出席してください。

※その他の行事については、書類配布時に配布される「学年初頭行事」を参照してください。

※履修ガイダンスの所要時間は60分~80分です。場所等詳細は「学年初頭行事」を参照してください。

※健康診断の詳細は、学部掲示板、または「学年初頭行事」を参照してください。

※2年次編入学・転学部・転学科生も上記行事に参加してください。なお、健康診断は4月5日・6日のいずれかで受診してください。

※健康診断を受診しない場合は外部(自費で約4000円)で受診することになり、証明書などの発行はできません。

※1年次留年生の学生証裏面シール更新は、4月5日(火)以降窓口時間帯に学生生活グループ(B棟1階)で行います。

2004年度 父母懇談会開催報告

本学では、大学後援会事業の一環として、大学の近況、学業・就職・学生生活等についての全体説明や個別面談を通して、在学生の保護者の皆様と緊密なコミュニケーションをはかり、皆様の大学へのご意見を大学運営に反映することを目的として、父母懇談会を実施しています。



2004年度父母懇談会は、5月22日(土)の法学部を皮切りに、学部ごとにも首都圏父母懇談会を実施しました。地区父母懇談会は、東日本(全23地区)を対象に順次実施し、西日本においては広島・神戸・福岡地区の3会場で、公開講演会との同日開催として実施しました。本年度も多くの方にご参加いただき、全日程を無事に終了することができました。

2004年度地区父母懇談会実施報告

午前中の全体説明会では、大学の近況、学業成績と就職関係の内容を中心に報告がありました。大学の近況については大学代表者から、また、学業成績・就職・学生生活については各担当者から説明・報告をしました。

昼食時に行われる懇親会では、地元の方にもご参加いただき、保護者との懇親を深めていただきました。

午後の個別面談では、大学全般・学業・就職・学生生活関係等について、さまざまなご質問、ご要望を承りました。

本年度は台風等の悪天候に見舞われ、開催が危ぶまれる地区もありましたが、お申込みの方はほぼ全員にご参加いただき、あらためて保護者の皆様の関心の高さが伺えました。

昨年度より実施の大学代表者による講演会は、東日本地区においても大変ご好評をいただき、熱心にメモを取りながら講演に聞き入る姿がとて印象的でした。

●2004年度地区父母懇談会 ※全学部・全学科のご父母対象

対象道府県	開催都市	開催日	会場
<東日本地区>			
北海道	旭川市	8月21日(土)	旭川グランドホテル
	函館市	8月21日(土)	ホテル函館ロイヤル
	札幌市	8月22日(日)	ホテルニューオータニ札幌
青森県	八戸市	9月11日(土)	八戸第2ワシントンホテル
岩手県	盛岡市	9月12日(日)	メトロポリタン盛岡
宮城県	仙台市	9月19日(日)	ホテルJALシティ仙台
秋田県	秋田市	9月20日(祝)	アキタスカイホテル
山形県	山形市	9月20日(祝)	メトロポリタン山形
福島県	郡山市	7月24日(土)	ホテルハマツ
茨城県	水戸市	8月29日(日)	水戸京成ホテル
栃木県	宇都宮市	7月25日(日)	宇都宮ロイヤルホテル
群馬県	高崎市	8月28日(土)	高崎ビューホテル
新潟県	新潟市	8月29日(日)	新潟グランドホテル
富山県	富山市	7月17日(土)	富山全日空ホテル
石川県	金沢市	7月18日(日)	金沢都ホテル
福井県	福井市	7月19日(祝)	福井ワシントンホテル
山梨県	甲府市	9月5日(日)	ホテル談露館
長野県	長野市	9月4日(土)	ホテルザンルート長野
岐阜県	岐阜市	7月31日(土)	ホテル330グランデ岐阜
静岡県	浜松市	8月7日(土)	ホテル・ヴィラくれたけ
	静岡市	8月8日(日)	ホテルセンチュリー静岡
愛知県	名古屋	8月1日(日)	ホテルキャッスルプラザ
三重県	津市	7月31日(土)	津都ホテル
<西日本地区>			
西日本地区 全府県対象	神戸市	10月17日(日)	神戸ポートピアホテル
	広島市	9月12日(日)	ホテルグランヴィア広島
	福岡市	11月7日(日)	福岡県中小企業振興センター

●2004年度首都圏父母懇談会 ※東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県にお住まいのご父母を対象

対象学部・学年	開催日
法学部 2・3年生	5月22日(土)
経済学部/経済学部第二部 2・3年生	5月29日(土)
文学部/文学部第二部 2・3年生	6月5日(土)
国際政治経済学部 2・3年生	6月12日(土)
経営学部/経営学部第二部 2・3年生	6月19日(土)
理工学部 2・3年生	11月20日(土)

Club & Circle Information

問い合わせ先 〒150-8366
青山学院大学学生部学生課
Tel 03-3409-7835

*主な文化連合会・体育連合会の活動予定。
下記大会演奏会の日程・場所は予定のものです。今後変更になる可能性もあります。

主要活動予定 (2005年1月~2月)

- アイススケート部 日本学生氷上競技選手権大会 (1月)
- 硬式庭球部 関東学生新進テニス選手権大会 (2月)
- スキー部 全日本学生スキー選手権大会 (1月)
- 卓球部 全日本卓球選手権大会 (1月)
- 馬術部 関東学生馬術新人競技大会 (2月)
- 洋弓部 インドア選手権大会 (1月)

主要活動報告 (2004年10月~12月)

- 居合道部 東日本学生居合道大会 団体優勝 個人優勝
- 空手道部 関東大学選手権大会 女子団体形の部 優勝
- 卓球部(女子) 全日本学生卓球選手権大会 ダブルス優勝
- バレーボール部(女子) 関東大学バレーボールリーグ 3位
- バスケットボール部(男子) 関東大学バスケットボールリーグ戦 入替戦 一部昇格
- バドミントン部(女子) 全日本学生バドミントン選手権大会 団体3位 ダブルス準優勝
- チアリーディング部 チアリーディング日本選手権大会 規定2位 総合8位
- レスリング部 第1回静岡オープン女子レスリング大会 個人優勝

News Index 2004.10~11

WEEKLY AOYAMAのタイトル紹介

2004年10月上旬~11月下旬までの主なタイトルを掲載しています。

04年10月

- 理工学部電気電子工学科 橋本 修教授ETC用電波吸収シートを3分の1に軽量化
- 理工学部経営システム工学科 竹内俊彦助手が教育システム情報学会論文賞受賞

04年11月

- プロ野球ドラフト会議で本学硬式野球部の2選手が指名される
- 理工学部附属「先端技術研究開発センターシンポジウム2004」のお知らせ
- 青山スタンダード「キリスト教理解関連科目」特別講座「ザ・クラウン&アンカー・コンサートのお知らせ
- ハンドベル・クワイア「チャリティー・クリスマス・コンサート」のお知らせ
- 経済学部主催講演会「進む地方分権:三位一体改革の評価と課題」のお知らせ
- 公開シンポジウム「ひとに優しい医療を創生する医学と理工学の融合」のお知らせ
- 青山学院大学理工学部がウィーン工科大学、スロバキア工科大学と協定締結
- 青山学院大学理工学部・青山学院大学総合研究所自然科学研究部共催 2004年度 第2回特許セミナー開催のお知らせ



プロ野球ドラフト会議で本学硬式野球部の2選手が指名される

WEEKLY AOYAMAアドレス <http://www.aoyama.ac.jp/agu/news/weekly.html>



橋本 修
理工学部電気電子工学科 教授

誌上公開講座 No.25

青山スタンダード

教養コア科目・自然理解関連科目

「先端エレクトロニクス」

ケータイ文化やインターネット社会を支えている「先端エレクトロニクス」。この講義では、「電気とは?」「電波とは?」という初歩的な知識から、最先端のエレクトロニクス研究の動向までを、3名の教員が文系の学生にもわかりやすく解説します。ここでは、主に電波(電磁波)に関する講義を担当されている理工学部電気電子工学科橋本修教授に授業の目的と内容について紹介していただきました。

生命倫理、環境問題

今や自然科学は、地球に生きるすべての人々の「必修科目」

「先端エレクトロニクス」を含む教養コア科目・自然理解関連科目には、物理、数学、化学、工学、生物学、生命科学、地球科学、環境科学など、幅広い領域にわたる自然科学関係の科目が設置されています。人文・社会科学系学部のみなさんは、これほど自然科学の科目が充実していることが不思議に思われるかもしれません



▲▼講義では図表や写真等多用し、わかりやすい説明がある

Aoyama Gakuin Univ.

アンテナの長さや周波数の関係って?

① 周波数 $f = 300 \text{ kHz}$ の波長は? $\rightarrow \lambda = 1 \text{ Km}$
 アンテナの長さは 500 m !! (長い〜)

② 周波数 $f = 1 \text{ GHz}$ の波長は? $\rightarrow \lambda = 30 \text{ cm}$
 アンテナの長さは 手のひらサイズ!

③ 周波数 $f = 60 \text{ GHz}$ の波長は? $\rightarrow \lambda = 5 \text{ mm}$
 アンテナの長さは 2.5 mm !! (短い〜)

作業現場のローカル通信

Hashimoto Lab.

が、今や「自然科学は、理系の人間にだけ任せておけばいい」という時代ではないのです。生活や産業に欠かすことができないエネルギーとしての「電気」

少し前まで、先端技術というものは私たちの生活から少し離れたところにありました。しかし、現在では「最」先端技術が、日常生活のすぐ近くで息づいています。この10年間で私たちの生活を大きく変えたものとしては、パーソナルコンピュータがあげられます。さらにインターネットの進歩と広がりによって、パソコンで世界中のありとあらゆる情報を入手できるようになりました。そうした先端技術を支えるものがエレクトロニクスであり、電気がその先端技術を支える重要なエネルギーとなりつつあります。

ひとりの消費者として電気・電子の世界をどのように理解し、実際の生活場面で役立てることができるか……「先端エレクトロニクス」は、受講する学生のみなさんにそんな機会を提供する講義です。

- 講義でお話する主なテーマは次の通りです。
- エネルギーとしての電気を正しく理解すること。
 - 地球環境に関わる「省エネルギー」に関する感覚を養ってもらうこと。
 - 急速に発展する情報通信技術(IT)と深く関わり合っている電波(電磁波)を理解すること。

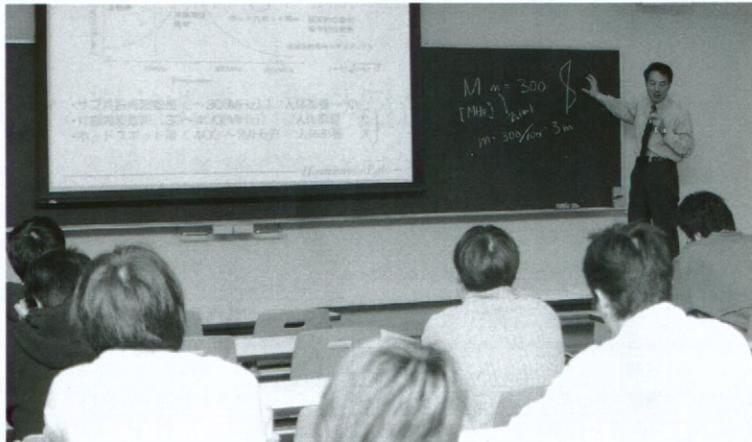
●さまざまな産業を支える半導体集積回路とそれを利用した電子機器に関する理解を図ることです。

私の専門は環境電磁工学、生体電磁工学、電磁波計測工学です。この講義では身近にある携帯電話や電子レンジを例に挙げて電波の種類、周波数やヘルツといった基本的なことから、ETC(ノンストップ自動料金支払いシステム)や無線LANなどで利用されている電波吸収技術についての最新の研究まで説明します。

また、電磁波による人体への影響についても、その人体防護の必要性から、実際の研究での測定・評価の方法まで、実験装置の写真やグラフを使ってわかりやすく解説しています。

「学科の授業にさらに興味もてる」という電気電子工学科の学生も多く、毎回講義の最後に受講生に書いてもらっている課題文をみると、人文・社会科学系学部の学生の理解度もかなり高く、興味を持って参加している様子が読み取られるので、私自身もとても喜んでいます。

講義中、文系の学生もより興味もてるように、わかりやすく説明しています。むしろ私たち担当教員は、「電気・電子は苦手」という学生にこそ、ぜひとも受講してもらいたいと思っています。私たちの生活や産業に欠かすことができない電気に関する「物知り」になれば、きっと世の中のことが、今まで以上によく見えてくると確信しています。



春期休業中の窓口案内 対象期間 2/7~3/31

部署	窓口事務取扱期間	曜日	取扱時間	備考
教務課	2/27~3/31	月~金	9:00~19:00(11:30~12:30は窓口停止)	2/6~2/26は窓口停止
		土	9:00~19:00(11:30~14:00は窓口停止)	4/1より平常通り
教職課程課	3/8~3/31	月~土	9:00~16:00(土は11:30まで)	3/8は19:00まで 4/1より平常通り
学生部	2/27~3/31	月~金	9:00~19:00(15:00~16:00は窓口停止)	2/6~2/26,3/27は窓口停止
		土	9:00~19:00(11:30~16:00は窓口停止)	4/1より平常通り
就職部	2/7まで	月~土	9:00~17:00(火・金は19:00まで,土は12:00まで)	窓口停止時間16:00~17:00
	2/22~25,2/28~		9:00~19:00(土は12:00まで)	(土は13:00まで資料室閉室)
図書館	2/28~3/31	月~土	9:00~19:00	貸出期限を厳守してください。休館中の本の返却は正面入口脇のブックポストに入れてください 4/1,2は9:00~19:00,4/4より平常通り
大学院事務室	3/8~3/31	月~金	9:00~16:00(11:30~12:30は窓口停止)	2/7~3/7は入学試験業務のため窓口停止
専門職大学院事務室	2/7~3/31	土	9:00~13:00(11:30~12:30は窓口停止)	修士論文最終試験日は平常通り
広報入試センター	2/7~3/31	月~土	9:00~16:00(土のみ13:00まで)	窓口停止時間11:30~12:30
情報科学研究センター	2/7~3/31	月~土	9:00~17:00(土のみ13:00まで)	年度末処理の為、施設およびネットワーク利用停止期間があります ※コンピュータ利用日程は掲示板参照
国際交流センター	3/1~3/31	月~土	9:00~16:00(土のみ11:30まで)	2/7~2/28は窓口停止
外国語ラボラトリー	3/1~3/31	火・金	9:00~19:00	2/7~2/28は窓口停止
学生相談センター	2/7~3/31	月~土	9:00~17:00(土のみ11:30まで)	火・金の夜間開室は4/1より 昼休み11:30~12:30
保健管理センター	2/7~3/31	月~土	9:00~16:00(土のみ11:30まで)	昼休み11:30~12:30 4/1より平常通り
宗教センター	2/7~3/31	月~土	9:00~17:00(土のみ13:00)	4/1より平常通り

★2月8日(火)~2月26日(土)の期間は、2005年度一般入学試験のため青山キャンパスへの入構が制限されます。上記期間に入構の場合は警備員に用件を告げ許可を得た上で、西門または東門から入構してください。

ユニット	グループ	窓口事務取扱期間	曜日	取扱時間	備考
学生支援ユニット	スチューデントセンター	2/28~3/31	月~土	9:00~16:00(土のみ11:30まで) 窓口停止時間11:30~12:30	2/7~2/26,3/26(学位授与式)は窓口停止 4/1より平常通り ※ 2/15,16は追試験業務のみ窓口事務を行います
	学務グループ※				
	進路グループ				
	国際交流グループ				
	学生生活グループ				
健康管理グループ(保健管理センター事務室)					
健康管理グループ(学生相談センター事務室)					
教育・学習支援ユニット	授業支援グループ	2/7~3/31	月~土	9:00~17:00(土のみ13:00まで) 窓口停止時間11:30~12:30	
	情報教育支援グループ(情報科学研究センター)	2/7~3/31	月~土	9:00~17:00(土のみ13:00まで)	毎月第4水はメンテナンスのため、13:30よりPC教室利用不可。年度末処理に伴う利用案内は別途お知らせします
	図書グループ(図書館)	2/7~3/31	月~土	9:00~17:00(土のみ13:00まで)	3/1~3/4蔵書点検のため閉館 4/1より平常通り
	メディアライブラリーグループ(外国語ラボラトリー)	2/7~3/31	月~土	9:00~17:00(土のみ13:00まで)	4/1より平常通り
研究支援ユニット	研究支援グループ				
企画・渉外・庶務ユニット	企画グループ	2/7~3/31	月~土	9:00~17:00(土のみ13:00まで)	
	地域渉外交流グループ				
経理・施設ユニット	庶務グループ				
	経理・施設グループ				
宗教センター		2/7~3/31	月~土	9:00~17:00(土のみ13:00まで)	4/1より平常通り

詳細は各掲示板をご覧ください。

成績通知について

2004年度の成績通知書は、卒業決定者以外の学生は3月中旬に保証人住所宛へ郵送されます(除大学院)。卒業・修了決定者については、学位授与式当日、学生本人に配付されます。

また、在学生は2005年4月のオリエンテーション開始日より学内情報端末から各自成績通知書を出力し、確認してください(除大学院博士後期課程)。

2004年度学位授与式・卒業礼拝

2004年度学部卒業生および大学院修了生を対象として、下記のとおり「学位授与式」が挙行されます。これに先立ち、3月26日(土)10:00~11:00にガウチャー記念礼拝堂(青山キャンパス)において、卒業礼拝が挙行されます。

	学部	大学院
期日	3月26日(土)	3月26日(土)
時間	13:00~	16:00~
場所	青山学院記念館(青山キャンパス)	ガウチャー記念礼拝堂(青山キャンパス)

卒業・進級に関するお知らせ

対象	日程	時間	場所
卒業・修了決定者氏名発表			
昼間部(除理工学部)	3/8(火)	9:30	青山キャンパス各学部掲示板
第二部(夜間部)	3/8(火)	9:30	青山キャンパス各学部掲示板
理工学部	3/8(火)	9:30	相模原キャンパス理工学部掲示板および学生情報サービス
理工学研究科			相模原キャンパスN棟理工学研究科掲示板および学生情報サービス
大学院(除理工学研究科)	研究科により発表日が異なるので大学院事務室および専門職大学院事務室掲示板で確認してください		
卒業見込決定者氏名発表(理工学部のみ)			
理工学部	3/9(水)	10:00	相模原キャンパス理工学部掲示板および学生情報サービス
進級決定者氏名発表			
相模原キャンパス在学生(除理工学部)	3/8(火)	9:30	学生情報サービス
第二部2年生	3/8(火)	9:30	青山キャンパス各学部掲示板

※電話による問い合わせには一切応じておりません。
 ※卒業年次生は、必ず2月28日(月)までに図書を図書館へ返却してください。
 ※4年生は全員、卒業後の進路報告をする必要があります。青山キャンパスの学生は就職部に「進路決定届」を、相模原キャンパスの学生は学生支援ユニット進路グループに「進路先届」を提出してください。

2004年新潟県中越地震および台風23号等大規模自然災害罹災世帯の学生の方へ

このたびの2004年新潟県中越地震および台風23号等大規模自然災害により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

なお、罹災し今後の学生生活に影響が懸念される学生は、2月5日(土)までに下記窓口までご相談ください。

青山キャンパス窓口

学部生:学生部学生課(1号館1階)
 大学院生:大学院事務室(総合研究所ビル2階)
 専門職大学院生:専門職大学院事務室(5号館1階)

相模原キャンパス窓口

学部生・大学院生(理工学研究科):チューデントセンター
 学生支援ユニット学生生活グループ(B棟1階)

大学・大学院学費納付について (大学院の学費納付の期限等については大学院要覧を参照してください。)

〈学部生〉

1. 学費振込依頼書発送・納付期限等について

- (1) 前期振込依頼書発送予定 4月上旬【納付期限4月下旬】 後期振込依頼書発送予定 9月上旬【納付期限9月下旬】
- (2) 学費振込依頼書は、上記の日程で保証人宛(第二部(夜間部)のみ申し出のあった場合は学生宛)に送付いたします。
- (3) 学費振込依頼書に記載の銀行本・支店での振込みは、振込手数料が無料です。その他の都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、農業組合等での振込みは、振込手数料が必要になります。

※ご注意 自動振込機による振込は絶対にしないでください。(学費納入の確認が不可能なため。)

2. 下記事項問い合わせ先(学費未納等事故防止のため)

- (1) 住所変更(保証人・本人) → 学生部厚生課・学生生活グループ
- (2) 学費の延納・分納を希望する場合 → 学生部学生課・学生生活グループ
- (3) 休学・退学を希望する場合 → 昼間部(3・4年)および第二部は学務部教務課(青山)
→ 昼間部(1・2年、理工学部全学年)は学務グループ(相模原)
- (4) 学費振込依頼書を紛失した場合 → 本部経理部出納課
 青山キャンパス 03-3409-8111(代表)
 相模原キャンパス学務グループ 042-759-6003(ダイヤルイン)
 相模原キャンパス学生生活グループ 042-759-6004(ダイヤルイン)

3. 編入学・転部・転学部・転学科・再入学の学生の学費は、経理部出納課にお問い合わせください。

4. 4年次で留年した学生の学費振込依頼書発送については、前期は5月中旬【納付期限6月上旬】です。後期は10月中旬【納付期限11月中旬】になります。

5. 年間学費を一括して納付することもできます。(4年次再修業者を除く)

希望される場合は学生部学生課・学生生活グループに申し出てください。

6. 教育ローンについて

本学では銀行と特別に提携した、有利な条件の「教育ローン」があります。詳細については、AGUニュース第26号(3~4月号)に掲載いたします。

2005年度 大学学費一覧表(入学年度別)

単位:円

学部・学科	2004年度入学生		2003年度入学生		2002年度入学生	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
昼間部	教育学科	535,500	380,500	480,500	380,500	480,500
	英米文学科	534,700		479,700		479,700
	フランス文学科	535,500		480,500		480,500
	日本文学科	535,500		480,500		480,500
	史学科	536,500		481,500		481,500
	心理学科	567,500		512,500		512,500
	経済学部	536,500		481,500		481,500
	法学部	537,500		482,500		482,500
	経営学部	536,500		481,500		481,500
	国際政治経済学部	557,500		492,500		492,500
	理工学部	820,000		549,000		755,000
第一部(夜間部)	教育学科	306,000	239,000	286,000	239,000	286,000
	英米文学科	305,200		285,200		285,200
	経済学部	307,000		287,000		287,000
	経営学部	307,000		287,000		287,000

上記学費一覧表は、転部・編入学・転学部・転学科・再入学・留年等は除きます。
 問い合わせ先:経理部出納課 03-3409-6479(直通)

2005年度 大学院学費一覧表(入学年度別)

単位:円

研究科・専攻	2004年度入学生		2003年度入学生	
	前期	後期	前期	後期
文学(教育)博前・博後	323,500	257,500	273,500	257,500
文学(英米)博前・博後	322,700		272,700	
文学(フランス文)博前・博後	323,500		273,500	
文学(日本文)博前・博後	323,500		273,500	
文学(史)博前・博後	324,500		274,500	
文学(心理)博前・博後	361,500		311,500	
経済学博前・博後	324,500		274,500	
法学博前・博後	325,500		275,500	
経営学博前・博後	340,500		290,500	
国際政治経済学修士・博後	465,500		365,500	
国際マネジメント2年制コース	656,000		378,000	
国際マネジメント3年制コース	546,000	268,000	546,000	268,000
国際マネジメント博後	465,500	257,500	365,500	257,500
法務	708,000	500,000		
理工学博前	560,000	373,000		
理工学博後	590,000		490,000	373,000

博前は博士前期課程、博後は博士後期課程
 ※留年は除く

新・経済研究所が発足

2004年10月、青山キャンパス8号館6階の経済研究調査室がリニューアルされ、新たに経済研究所として発足しました。研究・教育を通しての社会的貢献と、より高い社会的評価を得ることを目的に、ソフト面をAdvanced Web Systemにて充実し、今回のリニューアルではハード面を整備・充実しました。具体的には①常設のPresentation Room ②研究Project用研究室、院生教育・研究室 ③Project研究用 図書室および閲覧室 ④コピー・製本室 ⑤会議室・Free Discussion Roomなどを設置しました。スタッフが常駐し、経済学関連の資料や雑誌の閲覧・コピーが自由に行えます。院生のみならず、学部生も積極的に利用してください。



高校1・2年生のための大学説明会開催報告

2004年11月7日(日)、青山キャンパスにおいて「高校1・2年生のための大学説明会」が開催されました。当日は、歓迎礼拝、保護者を対象とした大学ガイダンス、大学紹介・入試概要紹介、個別進学相談、リスニング試験体験などが行われ、本学への進学を希望する熱心な高校生とご父母1,342名が来場しました。

2006年度より新たに経済学部、経営学部で「大学入試センター試験利用入学試験」を実施

本学では、法学部、国際政治経済学部、理工学部に次ぎ、現高校2年生等が受験する2006年度より、経済学部・経営学部において「大学入試センター試験利用入学試験」を新たに実施いたします。実施教科・科目等の詳細については、大学ホームページをご覧ください。

- ・経済学部(経済学科) 募集人員20名
 - ・経営学部(経営学科) 募集人員30名
- http://www.aoyama.ac.jp/admission/college/new_course/index.html

2005年度入学試験日程

●一般入学試験 試験会場：青山キャンパス

学部・学科・コース・方式	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
理工学部 物理・数理学科 化学・生命科学科 機械創造工学科 情報テクノロジー学科 電気電子工学科 経営システム工学科	1/6(木)～1/28(金) 郵送受付に限り (締切日消印有効)	2/10(木)	2/17(木)	2/24(木)
		2/11(金)		
		2/13(日)		
		2/20(日)		
		2/14(月)		
文学部 教育学科(B方式) 英米文学科(A方式) フランス文学科 日本文学(B方式) 史学科 心理学科昼間主コース 教育学科(A方式) 英米文学科(B方式) 日本文学(A方式) 心理学科夜間主コース	1/6(木)～1/31(月) 郵送受付に限り (締切日消印有効)	2/15(火)	2/21(月)	2/28(月)
		2/17(木)		
		2/18(金)		
		2/19(土)		
		2/26(土)		
経営学部 経営学科	2/15(火)	2/21(月)	2/28(月)	
法学部 法学科	2/17(木)	2/23(水)	3/2(水)	
国際政治経済学部 国際政治学科 国際経済学科	2/18(金)	2/24(木)	3/3(木)	
経済学部 経済学科	2/19(土)	2/25(金)	3/4(金)	
文学部第二部 教育学科 英米文学科	郵送受付期間(締切日消印有効)	2/26(土)	3/3(木)	3/10(木)
経営学部第二部 経営学科	2/19(土)のみ			

●大学入試センター試験利用入学試験 各学部・学科とも、個別学力検査等は課しません。

学部・学科	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
法学部 法学科	1/6(木)～1/14(金) 郵送受付に限り (締切日消印有効)	1/15(土)	2/8(火)	2/16(木)
国際政治経済学部 国際政治学科 国際経済学科		1/16(日)		
理工学部 物理・数理学科 化学・生命科学科 電気電子工学科 機械創造工学科 経営システム工学科 情報テクノロジー学科		[平成17年度大学入試センター試験受験案内]を参照。		

※入学手続締切日までに、入学金を除く学費等についての延納(入学申込手続)を許可された者の入学完了手続締切日は3月24日(木)です(正規合格者のみ対象)。

歴代院長とその時代



おおき きん じろう 大木金次郎

第11代院長
(1960～1989年在任)

大木金次郎院長の30年近い在任期間は、今日の総合学園としての青山学院の礎を築いた歳月といえるでしょう。1931(昭和6)年、青山学院第1回留学生としてオハイオ・ウェスリアン大学に学び、コロンビア大学大学院でM.A取得。帰国後、青山学院専門部商科教授を経て、1958(昭和33)年に大学学長に就任しました。1960(昭和35)年に院長に就任した翌年、青山学院幼稚園を開園。また、世田谷区に理工学部新設、経済学部商学科を経営学部へ改組、大学院研究科の設置など、大学の教育研究体制の充実と発展に積極的に取り組みました。1982(昭



青山学院幼稚園一期生

和57)年には、厚木キャンパスを開学。同時に、大学教育の国際化の先駆けとなった国際政治経済学部が設置されました。任期中には1960年代に始まる大学紛争など、苦難の時もありましたが、暴力行為に対しては断固として立ち向かい、学院の平穏に尽力しました。1975(昭和50)年より青山学院理事長を兼任。また、私立大学審議会会長、私立大学連盟会長、キリスト教学校教育同盟理事長などの要職を歴任し、1978(昭和53)年、その長年にわたる功績に対し、政府から勲一等瑞宝章を授与されています。

AGUニュースについて

青山学院大学では、大学広報誌「AGUニュース」を年5回(1月、3月、5月、7月、10月)発行し、在学生の保証人の方々に送付しています。あわせて、本学ホームページには「AGU News on Web」を開設。「AGUニュース」の内容を抜粋して掲載するとともに、大学のタイムリーなニュ

ースを簡潔な文字情報で週ごとにお知らせする「Weekly AOYAMA」ページも設けております。さらに「Weekly AOYAMA」につきましては、2週分のニュースの中から主要な記事を抜粋し、在学生を対象に「AGUニュースレター」として学内のAGUニュース専用スタンドにて配布しています。なお、「Weekly AOYAMA」は2月より大学が入試期間となるため、隔週でニュースを更新いたします。

※保証人の方は、お手数ながら本誌を学生へ回付してくださいませうお願いいたします。

AGUニュースのバックナンバーはこちらをご覧ください。

<http://www.aoyama.ac.jp/agunews/>
広報入試センター広報課 ● 2005年1月11日発行 ●